

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映されたのか、対応を追跡しました。

●平成28年6月定例会● 一般質問
遠藤 浩 議員

公園内施設のさらなる整備を

二ツ沼総合公園は、町の賑わいと情報を発信する大変重要な公園です。

①町内外のNPOや各種団体から宿泊棟を利用し、活動したいとの声がありますが、早期に再開できませんか。

改修工事を行い、再開時期を検討

平成27年度に修繕調査と修繕箇所の実施設計を行った結果、宿泊棟内の給湯設備の改修が必要となり、平成28年度の生活環境整備事業で改修工事を行う予定です。

宿泊棟の利用が再開

二ツ沼総合公園内の「合宿の宿」が平成29年4月から再開されました。

震災以降、使用できませんでしたが昨年度にボイラーの修繕等が実施され、再開の運びとなりました。



一般質問席

4人の議員が町政を問う

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

ふくしま森林再生事業の推進状況は

遠藤町長／実施面積は決まり次第報告

北郷 震災と原子力災害の影響により、森林の公益的機能の低下が懸念されるため、森林整備と放射性物質対策を一体的に行う「ふくしま森林再生事業」を実施するとしています。

- ①推進状況はどのようになっていますか。
- ②平成29年度の実施計画はどのようになっていますか。
- ③工期や実施面積はどのようになっていますか。

町長

①上浅見川地域の現地調査を行い、間伐方針・範囲を定め、間伐作業や維持管理を進めるための作業道の整備計画を進めています。また、対象区域内の山林所有者に対し、間伐の実施内容などを説明するとともに、間伐後の管理などを記載した管理協定書の締結に努めています。

②第平地区の管理協定書を締結した山林から、作業道を整備し、間伐作業を行い、枝葉の集積並びに表土流出防止柵の設置を行う等の放射性物質対策に取り組んでいます。平成29年度事業実施面積は、約100haを予定しています。

③補助事業期間が平成32年度までの期間であるため、実施できる区域は、第平地域から小滝平地域並びにJヴィレッジ・メインスタジアム北側の山林を予定しています。

北郷

県は、県民の健康指標改善に向け、「健康寿命」（平成25年度）の全国順位で男性41位70・67歳、女性35位73・96歳から平成34年度までに男女それぞれ2歳延ばし、全国で10位以内に入る目標を設定し、平成29年度から各種事業を展開するとしています。

健康寿命の延伸に向けた事業展開を

遠藤町長／健康教室等により延伸を図る

町長

①健康上の理由で日常生活が制されない期間を示す「健康寿命」は、厚生労働省の統計では、都道府県単位のみの公表となっています。

国民健康保険中央会が公表している「健康寿命」は、厚生労働省の計算方法と異なりますが、平成29年3月現在で、広野町では男性が64・8歳、女性が66・8歳です。

また、県からの講師派遣の協力を得ながら健康教室を開催し、健康寿命の延伸を図ります。

北郷

現在は、町より応急仮設住宅等に同居している世帯に回覧文書の送付や、高齢者等への訪問活動、スクールバスや支援バスの運行等を実施していますが、4月以降、避難生活を継続する必要がある世帯に対し、情報提供を含めた諸対応をどのように考えていますか。

避難生活を継続する世帯への支援は

遠藤町長／対象となる方に対して支援を継続して行います。

仮設住宅の特定延長又は民間賃貸住宅の家賃補助がありますが、町の支援として、情報提供は、4月以降も月2回の回覧等を送付していきます。

また、各仮設住宅と町とを結ぶ福祉バスは終了しますが、要介護2以上等の要件を満たし、公共交通機関等の利用が困難な方のため、外出支援の対象地域を当分の間いわき市内まで拡大します。



北郷幹夫 議員

町長

県の支援事業として、応急

訪問活動を実施します。生活支援相談員の定期的な訪問活動は、4月以降も避難先で継続して行います。

また、各仮設住宅と町とを結ぶ福祉バスは終了しますが、要介護2以上等の要件を満たし、公共交通機関等の利用が困難な方のため、外出支援の対象地域を当分の間いわき市内まで拡大します。